

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 3月 28日

事業所名 てらびあぼけつと西川口教室

保護者等数(児童数) 27名(29名) 回収数 18枚 割合 67%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	1			・道具等は必要ない時は仕舞われており、ダイナミックな運動は難しいと思うが、普段の活動は問題ないように思う。	・引き続き、安全面に配慮しスペースの確保をしています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	18				・その時々で先生が変わり、いろいろな方面からご支援いただいています ・個人療育なので必ず職員が1人付いて下さる。専門資格を有する職員が揃っている様に思う。	・多職種で連携し、幅広い支援を継続して行っています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16	1		1	・一番最初に見学で中を見せていただきましたが、バリアフリーに関しては覚えていません。 ・ネームカラーでの色分け、荷物入れなど視覚的な工夫があるように感じる。バリアフリー化されていて、子供の活動も見渡し易く、場合により仕切りや個室を使用されている。	・お子様が課題に集中して取り組めるよう、環境設定を行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17			1	・職員の方がよく清掃されている。バリアフリーのため玄関との仕切りが子供に分かり難く、よく土足で上がってしまう。	・今後も換気、消毒など衛生環境に気をつけながら運営していきます。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	18				・毎回丁寧にヒアリングしていただいている。親視点だけでなく先生方専門職から見て必要なニーズもどんどんアドバイス頂けると嬉しい。	・今後も丁寧に話を聞きながら、職員間での情報共有を綿密に行っていきます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	16	1		1	・話をきちんと聞いてくださり、しっかり作成いただいています。 ・特に問題なく感じている。	・事業内での支援にこだわらず、家庭支援や地域支援などを積極的にを行い、より包括的にお子様やご家族を支援出来るよう努めます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17			1	・計画に沿った支援はもちろん、子供の状況に合わせてニーズの変更や追加など、タイミングを見てご対応いただけている。	・支援計画に沿った支援を行っているが、その都度、ご家族のニーズに合わせて支援内容を調整していきます。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	18				・毎回複数のプログラム設定があり、実施いただけている。が、子供の必要に応じて、同じ項目が継続している事もある。	・お子様の成長段階に合わせたプログラム設定を行い、充実した支援を図っていきます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	2	4	7	・短時間、個別対応のため、難しい。 ・経験がないので不明。今のところ、特に必要は感じない。	・短時間の療育のため、必要に応じて、別の療育のご案内を行っています。
10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18				・当初、丁寧に説明頂いた。	・引き続き、丁寧に説明することを心がけていきます。	

保護者への説明等	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	16			2	<ul style="list-style-type: none"> ・よくおぼえていない。 ・ガイドラインと照らし合わせながら説明があったか覚えておらず、申し分ありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も計画更新の都度、お時間をいただき、直接説明させていただきます。 	
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)が行われているか	14	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭でできるトレーニングセミナーがあると良い。 ・ホームセラピー等を利用して頂いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、教室にてペアトレやホームセラピーをご提案していません。ご希望の方はお声がけ下さい。 	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18				<ul style="list-style-type: none"> ・LINEでやり取りできるので助かります。写真や動画の共有もありがたいです。 ・毎回のフィードバック、連絡帳やLINEなどで相談できたり、職員間で共有していただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、LINEやお電話、面談など様々な方法でお子様の様子を共通理解をしていきます。 	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17				1	<ul style="list-style-type: none"> ・始めたばかりの為わからない。 ・子どもの事をとても良くみて頂いているのが分かります。ありがとうございます。 ・定期的にはもちろん、いつでも相談し易い環境を作っていただいていると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング以外にも、ご希望の際に、面談やお電話にてご相談をお受けしております。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	2	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで出来ていないかも。 ・始めたばかりの為わからない。 ・参加したことがないので不明。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会についてのアンケートを集計していますので、集計後、職員間で検討していきます。 	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	17				1	<ul style="list-style-type: none"> ・園へ見学に来てくださったりとてもよくご対応いただいています。 ・子供の特性を職員間で把握して下さっているため、どなたにも相談し易く内容によって適切な職員の方から対応いただいていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保護者様やお子様からの相談を迅速に対応していきます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18					<ul style="list-style-type: none"> ・13、14、16の意見に同じ。お迎えの時間が複数人と重なると、フィードバックが聞き取り難い時があるのが難。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談室や個室を有効活用し、混雑を緩和し、十分なフィードバックが出来るよう努めます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	16	1			1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月会報の配布があったり、ホームページは各自で見に行けば情報を得る事が出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も毎月のおたよりを配布し、情報発信していきます。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	18					<ul style="list-style-type: none"> ・特に問題なく感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、個人情報の取り扱いについては気をつけていきます。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	15	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応の手順は会報で見た事があるが、その他非常時のものは当方が把握できていないので、一部分かりかねます。すみません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時やお子様別に対応マニュアルを作成し、個人ファイルに綴っています。 	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16				2	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方が一生懸命避難訓練なさってる写真が素敵でした。 ・会報にて訓練の様子がうかがえる(てらぼけだよりに掲載) 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害別に避難訓練をしています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	15	3			<ul style="list-style-type: none"> ・お勉強したくないと言う事もありますが来れば楽しそうにしています。 ・子どもの苦手分野をトレーニングして頂いているのもあり、行きいぶりはありますが帰宅後に尋ねると“楽しかった”と言っています。 ・先生方との関わりが楽しいようで、行き渋りなく通っており、何より助かっております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも楽しく通っていただけるよう、職員一同、お待ちしております。 	
	23	事業所の支援に満足しているか	17	1			<ul style="list-style-type: none"> ・いつも本当にありがとうございます。 ・はい、とてもよくしてくれています。いつもありがとうございます!! ・始めたばかりの為、今後さらにどんな支援をしてくれるのか期待している。 ・常々、親身にご支援いただいております。子供の得意な面・出来る面を多く引き出してくださり、大きな困りごともしなくなってきました。大変ありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも支援内容にご理解いただき、本当にありがとうございます。今後も保護者様やお子様のニーズを把握し、お子様がより成長できるように職員一同、日々、研鑽に努めていきます。今後とも、よろしくお願い致します。 	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 28日

事業所名 てらびあぼけっと 西川口教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		教材、備品の整理を行い、スペースを確保している。	必要のない物を選別し、安全面を優先していきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		個別で練習した事を小集団の中でも行えるよう工夫しています。	職員間で担当以外のお子様の様子も把握します。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		棚ごとに課題をわかりやすく提示していますが、構造化し過ぎないように意識しています。	玄関先が混雑するので、安全面に注意が必要です。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		各クールごとに消毒、清掃を行っています。	より一層、心地よく過ごせる環境作りを行っています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎月、各自の目標を設定し、振り返りを行っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年、アンケートを行い、話し合いをしています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		年に一回実施しています。	公表の際は、おたよりでも保護者様にお伝えしています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		事業所内での研修や、外部の研修に参加し、支援の充実を図っています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		セラピー終了後にご報告を行い、ご意向に沿っているか確認しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	事業所内で作成した、アセスメントツールを使用しています。	アセスメントツールと保護者様のご意向を考え、その子に合った支援を考えていきます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		カンファレンス議事録に話し合った内容をまとめ、各項目に仕付けています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		セラピーファイルに記録を添付している。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		各セラピストが、セラピー介入後に情報共有している	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		必要なものは継続し行いつつ、発達に合わせた新しい課題も入れている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別療育で出来た内容を小集団の中でも般化出来るように適宜、機会を設けている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日、朝礼を行いその日の役割分担を明確にしている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼の時間の中で、お子さんご様子やセラピー内容について職員間で共有出来るようにしている。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録は毎セラピーごとに取りつつ、より課題や目標が明確になるように、記録用紙の改善も実施している。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		お子様の成長や、ご家族のニーズに合わせて面談を行いながら必要に応じて変更、改善を図っている。		
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管が参加し、内容を共有している		

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて、関係機関との連絡を行っている。また、サービスなどのパンフレットの設置、配布もしている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	保護者の希望に合わせて、医療機関への訪問や情報共有を図っている。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行支援ではないが、家庭連携として情報共有している。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		少数ではあるが、保育所訪問の一環として小学校に行くこともある。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		年度の初めに、専門機関と情報共有を行った。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	保育園、幼稚園と併用しているお子さんが多いため交流する機会は多い。また保育所訪問を通じて、職員間の交流も行っている。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		川口市で開催されている会議に参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		セラピー後のフィードバックや連絡帳にて情報伝達を行っている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		ホームセラピーや事業所内でペアレントトレーニングを実施している。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時にご案内している。また同意が必要な書類などがある際には、その都度説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		初回時、計画更新時にその都度説明している。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		面談を定期的の実施しているほか、フィードバック、連絡帳、LINE等、相談方法を広げて対応している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者会の計画を行っている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		フィードバックや面談にて行いつつ、必要に応じてLINEや電話などを使う等、間口を広く設けるようにしている。	
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		おたよりを定期的に発行している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵付きのロッカーで書類を保管している。また不要な書類はシュレッダーにて裁断し廃棄している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		口頭言語だけではなくジェスチャーなどのボディランゲージやイラストなど、言語以外の伝達も行うようにしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後検討していく
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		服用薬や体調面に配慮が必要なお子様はセラピーファイルに緊急時マニュアルを綴っている。また職員の役割分担や、も決めている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難訓練を年二回実施し、内容をお便りでお伝えしている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		保護者様にお聞き取りし、確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		当教室内で、食事する機会は原則ないが、お聞き取りなどで情報収集している。	

応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		必要に応じて記載し、職員間で共有している。	小さいことでも、職員間で共有してゆけるように今後も継続する
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年1回研修を行っている。	今後も継続する。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		行動制限が予測されるお子様には、支援計画に記載し計画更新時に説明している。また職員間で共有している。	